

# 幼いルーピーとの思い出

久保 香

コバルトブルーの海を粹に前足を組んで一日中眺めているルーピー……海を見て何を考えているのかしら??なんて、いつも不思議に思っておりました。でも、この雄大な自然が今のルーピーを作ってくれたのでしょう。

4年半前に嫁入り道具にもたせられた 生後45日のルーピーと主人と共に奄美大島に移り住みました。奄美大島では、歩いて5分位行かなければ お隣さんがない一軒家でしたが、庭続きで砂浜があり、当初は、毎日 泳ぎに行ったり、カモメを追いかけたり、カニの穴をしつこく掘ったりして 一日を好きなように遊んでおりました。家の中でも、台所と客室以外は 自由に入りさせており、仕事上 絶えずお客様が泊られておりますので 遊び相手にも事欠かなかったと思うのですが 目が合うと遊ぼう!と飛んで来る、本当に 明るい子でした。

生後70日を過ぎた頃から、だんだん いたずらも 激しくなり、それも 人間が思いもかけないようなことをし 本当にちょっとやそつとは、考えられない凄さでした。たいていは、どこでも一緒に行きましたが 買物だけは 焼けつく暑さの車の中で 待たせられないので、留守番させたら 短時間でよくぞこまごま やってくれたと思う位 部屋はめちゃくちゃ……。人間の方もルーピーの届かないところに 工夫を凝らすのですが、ドンくさい私 対 ルーピーでは、いつもルーピーの勝ち! 現行犯で



もないので、叱れず、溜息が出るばかりです。じゃれ噛みもひどく（主人には、しないのですが）私は身体中みみずばれで、ヒーヒー言っていました。夜、自分の布団の角を、お母さんのオッパイを吸うように前足でかわるがわる押えて、チュッチュツと音をたてて吸って居る姿をみたら、なんかかわいそうで、痛さも忘れてしまいました。（なんと、2才まで布団の端を吸っておいりました。）

日がたつにつれて、お客様相手も上手になり、海に案内したり、フリスビーのお相手をしたり、記念写真のモデルをしたり、大忙し！でも、失敗も多く、目の前のお客様のスカートがヒラヒラするので思わずパクッ！ビリビリ・・・、フリル付きのビキニにも目がくらみパクッ！ズルズル・・・。その他にも、海から悲しそうな顔をして帰って来たと思ったら、牛の鼻輪のように釣り針がささっており、大慌て！！近くに獣医さんもなく思わず派出所に飛込み、なんとか取っていたいたり、本当に、色々な事があつたんだなって、とても懐しく思い出しております。

でも、ラブの成長は早く、気が付いたら、小犬っぼさは抜けはつらつとした子になっており、その頃から、いつも主人のお共をするようになりました。

なんせ、海が好きで、昼間は、嬉しそうに、ちょこんとウインドサーフィンに乗せてもらい、耳をパタパタさせて喜んでおりましたし、夕方からは、夕食のおかずになる魚やイカ釣りについて行きます。

ある日、ビショビショになって帰ってきましたので、どうしたのかと思います。高い堤防の上から、一発、大物を狙ってやろう！！と、思った主人が、今釣れたばかりのムロアジをそのまま大きな釣り針にかけて、沖に向かって投げたら、ルービーは「大変だ！御主人様が今日の夕食を海に落としてしまった。」と思っただけで、海にドボンと飛込み、沖に向かって泳ぎ始めたので、大慌てで魚を引上げたのですが、なんせ2Mの高さ・・・必死で助けたそうです。



いたずら坊主のルービーも35頭のママです！

その他にも、主人は夜にもお客様に出すイセエビ、夜光貝、タコ（オレガノとニンクが効いてるトマト煮が最高！）等とりにナイトダイブに行くのですが、その時もしっかり御共して海まで・・でも、潜ることは出来ないで主人に『ハウス！』と言われスゴスゴ帰って参りますが、始めは暗い夜道を一人で帰れるかどうかハラハラ致しました。そんな時主人に『もつとルーピーを信じてやれ』と怒られる始末です・・。家に帰ってきてひとときり私と遊んだ後は、ジッとまっ暗な海の方を見てひたすらあがつて来るのを待っており、懐中電灯の光がチラッと見えると矢のように飛んで行き『お手伝いさせて！』と自分の持てるものを一生懸命運んで来る姿の嬉しそうなこと！本当にラブは仕事好きですね。

ルーピーは6か月になるまで、入ってはいけないうところや、お客様から食事以外の物をもらってはいけないうこと、目覚まし時計がなるまで自分のベッドでタヌキ寝入りしておかなければいけないうこと位しか教えておりませんでした。もちろん、引き綱等つけたこともなかったのですが、やはりこれからどんなお客様が見えるか分からないし、獣医さんにも行かなければならないときもあるし、交配もしたかったので、可愛い子には旅をさせろと、しつけない学校にやることにしました。（でも、知らないところには出せないで、大阪の実家の近くでいつもうちの子達がお世話になったところまでいきました。）

今ではルーピーも計35頭のお母さんです。同じ兄弟でもそれ



大分に来られた時は遊びに来て下さい！！

それ性格も違い行った先の環境も違い色々なエピソードも聞かえてきますが、それぞれその環境にすぐに馴染み楽しい生活を（最初は悪戦苦闘だと思えますが）送ってくださっていることでしょう。

現在私達は、大分で普通の暮らしをしています。始めは『どうして勝手に家から出てはいけなの？』と不思議そうだったですがそこはラブすぐに慣れ妹のアリス（ゴールデン）と共に大分の生活を満喫しております。